

## 平成 29 年度第 1 回 PF-UA 運営委員会 議事録

日時：平成 29 年 6 月 5 日（月）15:00-17:00

場所：つくば国際会議場エポカル小会議室 303

出席者：[幹事会] 平井光博（会長）、近藤寛（庶務）、  
田中信忠（会計）、植草秀裕（行事・書記）、清水敏之（行事）、朝倉清高（戦略・将来計画）、  
奥部真樹（推薦・選挙管理）、米山明男（共同利用）、奥田浩司（教育）  
[運営委員会] 佐々木聡、佐藤衛、中山敦子、若林裕助、今井基晴、増田卓也、木村千里、  
雨宮健太、村上洋一、船守展正

・会長挨拶（平井会長）

### 【報告事項】

・会計報告（田中会計幹事）

平成 28 年度会計報告（最終）を行った。平成 28 年度は黒字となった。企業展示等の減少により収入が減少したが、展示会経費も減少したためである。関連した質疑応答を行った。

・JSR2018 報告（清水行事幹事）

第 31 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム（JSR2018）に共催として参加している。準備状況等を紹介した。JSR2018 は 2018 年 1 月 8-10 日につくばエポカルで開催される。JSR2019 は 2019 年 1 月 9-11 日に福岡国際会議場を予定している。

・KEK のユーザー登録のホームページに関して（平井会長）

現状の問題点を確認し、議論を行った。PF-UA ホームページや会員登録システム等の整備や運用は KEK のユーザー登録システムと連携が重要であり、引き続き施設側に提案・要望を行う。会則 5 条第 1 項正会員の資格の年限を年度ごとではなく、ユーザー登録がなくなってから何年という年限に改訂するという方向で検討する。

・ユーザアンケートの実施状況（平井会長）

アンケート回答について、概要が紹介された。また実施について、回答率や方式、内容に関する議論を行った。回答率を上げるために、期間を延長して実施することとした。

・施設報告（村上施設長）

共同利用実験関連（予算推移、運転時間、運転状況、G 型課題数推移）、共同利用成果（論文登録数推移、被引用数）、共同利用強化、BL 整備関連報告を行った。

・KEK 放射光の進捗状況等の報告（村上施設長）

進捗状況として、CDR v1.1 発行、MAC (KEK-LS Machine Advisory Committee) 実施、量子ビーム利用推進小委員会 (第 8 回)、ならびに関連報告を行った。今後も検討を継続するが CDR の改訂、TDR 作成は外部の状況を注視しながら慎重に進める。

・ H29 年度の PF-UA の活動予定 (平井会長)

KEK 新放射光関係、全国の利用者や関係各所へ情報発信 (広報活動強化)、ユーザーグループ加入呼びかけなど活動の強化を行う。

#### 【協議事項】

・ H29 年度予算案を承認した。

・ 財政基盤強化と賛助会員の勧誘について議論し、賛助会員を担当する小委員会が注力することとした。

・ 運転時間確保に関する方策に関して、議論を行った。アンケートの延長実施を行う。働きかけの方策、ユーザーがどのように協力できるか (旅費支給基準、外部資金の利用) を議論した。

・ 大学共同利用機関法人の見直し (文部科学省科学技術・学術審議会「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」(第 86 回研究環境基盤部会、H29.1.31))への対応について議論を行った。KEK でも検討を行っているが、PF-UA からの協力可能性を検討する。